

イベント報告書

(1) 概要	
名称	佐賀のほしさがし ―全国天文愛好者交流会 2017 in 佐賀―
期間	2017年9月30日(土) 13:30 ~2017年10月1日(日) 12:00
場所	1日目: 佐賀バルーンミュージアム (佐賀県佐賀市松原2丁目 2-27) 2日目: 佐賀市星空学習館 (佐賀県佐賀市西与賀町大字高太郎 328)
概要	プロ・アマを問わず全国の天文愛好家(団体・個人)、天文研究者、天文普及活動に携わっている人、広く天文学に関心のある人を対象とした天文愛好者交流会。講演会や天文愛好者による発表、観望会を実施。
目的	天文や宇宙、星空への興味関心、探究を深め、交流を図ること
参加費	無料

(2) 結果	
■参加者	合計 123名 (目標 40名)
―内訳―	1日目のみ参加 (23名) 観望会のみ参加 (34名) 2日目のみ参加 (18名) 両日参加 (48名)
■会場ごとの参加者	
1日目: バルーンミュージアム:	大人 62名 高校生: 9名
夜の観望会: 佐賀市星空学習館	大人 49名 子ども 19名
2日目: 佐賀市星空学習館	大人 52名 高校生: 14名
	佐賀市内観光: 23名
■一般発表数	口頭発表: 9件 ポスター発表: 11件

(3) 内容・写真	
	<p>1日目 13:45~15:05</p> <p>記念講演演題 『宇宙にうかぶ巨大な素粒子 ニュートロンスター』</p> <p>講師: 佐賀大学物理科 准教授橘 基さん</p>



1 日目 15 : 15 ~ 15 : 45

アメリカ皆既日食報告会

講師：写真家 野田尚之さん



1 日目 15 : 45 ~ 17 : 00

一般発表（第1部）

口頭発表①

「星食観測はアマチュアが主役」
せんだい宇宙館 早水 勉さん

口頭発表②

「あの光は何だ？—衛星軌道を難しい
数式を使わずに調べる—」

福岡工業大学附属城東高等学校
科学部 大槻 萌瑠さん

口頭発表③

「双眼鏡の基礎知識」

株式会社ニコン

小川 洋児さん/谷内 太一さん

口頭発表④

「JAAA について」

JAAA 田中 千秋さん



1 日目 20 : 00 ~ 21 : 30

佐賀市星空学習館観望会

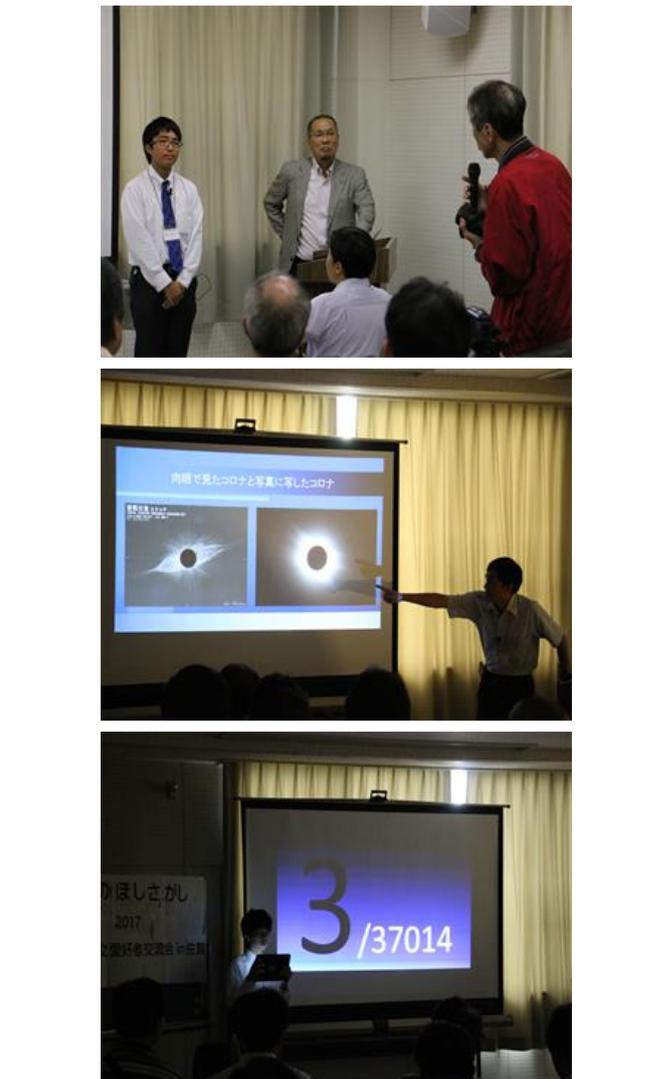
「双眼鏡大集合」

機材

・ 双眼鏡

Nikon WX シリーズ

フジノン

	<p>2日目 9:00～9:30 日本天文愛好者連絡会総会</p>
	<p>2日目 9:30～10:10 一般発表 (第2部) 口頭発表⑤ 「日食情報センターについて」 日食情報センター・JAAA 飯塚 礼子さん 口頭発表⑥ 「ハーモニックドライブについて」 HOBYM OBSERVATORY TECHNOLOGY In・Jon・Hwang K-ASTEC 川野 伴睦さん</p>
	<p>2日目: 10:45～11:40 一般発表 (第3部) 口頭発表⑦ 「デブリを探して九千里Ⅱ —静止軌道近傍デブリの撮影—」 福岡工業大学附属城東高等学校科学部 溝口 瑛斗さん 口頭発表⑧ 「コロナの画像処理について」 佐賀天文協会・NPO 法人長崎天文協会 草野 敬紀さん 口頭発表⑨ 「流星が酸素を光らせる! 4 ～回折格子による流星痕の分光観測～ 佐賀県立佐賀西高等学校 サイエンス部 江口 矢起さん/古賀 かりんさん</p>

	<p>奨励賞授与式 (授与者) 日本天文協議会会長・日本天文愛好者連絡会 顧問の海部貞男さん</p> <p>(受賞者) 福岡工業大学附属城東高等学校科学部 大槻 萌瑠さん、溝口 瑛斗さん 杉本晋一郎さん、片峰壮章さん 佐賀県立佐賀西高等学校 サイエンス部 一同</p>
	<p>エクスカージョン 佐賀市内観光</p> <p>・佐賀城</p>
<p>集合写真1日目：佐賀バルーンミュージアム</p> 	<p>集合写真2日目：佐賀市星空学習館</p> 

ポスター発表

発表①「流星が酸素を光らせる！4 ～回折格子による流星痕の分光観測～」

佐賀県立佐賀西高等学校サイエンス部 江口 矢起さん/古賀 かりんさん

発表②「デブリを探して九千里Ⅱー静止軌道近傍デブリの撮影ー」

福岡工業大学附属城東高等学校科学部 杉本晋一郎さん

発表③「デブリを探して九千里Ⅰー小口径望遠鏡で静止軌道デブリが撮影できるか？ー」

福岡工業大学附属城東高等学校科学部 片峰壮章さん

④「せんだい宇宙館の紹介」

せんだい宇宙館 早水勉さん

⑤「スターパーティ in 白木峰について」

I★COSMOS 高原和徳

⑥～⑨子ども達に星を観せる会・豊中天文協会・JAAA・理カフェ 茶木 恵子さん

⑥「豊中天文協会の活動」 ⑦「サイエンス・カフェ『理カフェ』の活動」

⑧「子ども達に星を観せる会の活動」 ⑨「JAAA の活動紹介」

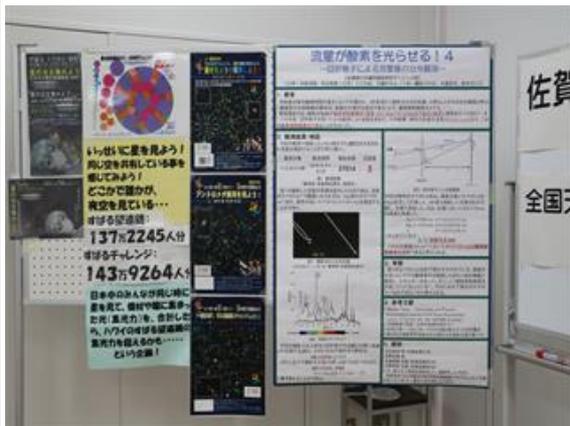
⑩「超広視界双眼鏡 WX シリーズ紹介」 株式会社ニコン 小川 洋児さん/谷内太一さん

⑪「ふくおか天文クラブ星ミネについて」ふくおか天文クラブ星ミネ 橋詰 信吾さん

⑫「天九会の活動について」 天九会会員 一同

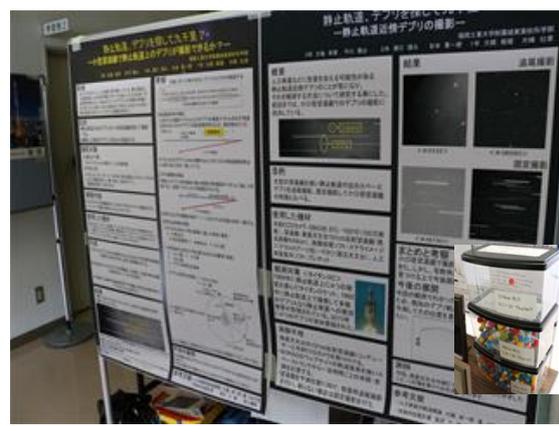
発表⑨

発表①



発表③

発表②



発表④



発表⑦

発表⑤



発表⑥



発表⑧

発表⑩



発表⑪



発表⑫



広報チラシ

～全国天文愛好者交流会 2017 in 佐賀～

佐賀のほしさがし

星を眺め、ペダラントに夢を飛ばす。佐賀の天文ファンが集い、天文や宇宙、宇宙への興味を深め、交流を促すイベントを開催予定です。天文・宇宙に興味がある方、ぜひお気軽にご参加ください。

9月30日(土) 場所 佐賀パルンミュージアム
13:30～17:00
13:45～
特別講演
「宇宙に浮かぶ巨大な銀河系 ニューロンスター」
15:15～
「アメリカの最新観望機と観望」
一般公開(第1回)

9月30日(土) 場所 佐賀市星空学館
20:00～21:30
10月1日(日) 場所 佐賀市星空学館
10:30～12:00

「佐賀天文愛好者交流会 2017 in 佐賀」実行委員会
〒840-0024 佐賀県佐賀市大正区大正 104
TEL: 0942-25-4328 FAX: 0942-33-3747
E-mail: jasehaga@hokkaga.com
http://jasehaga.hokkaga.com/

佐賀新聞社様 取材

国内の天文ファン交流

佐賀市星空学館に80人 講演会、望遠鏡展示も

佐賀パルンミュージアム(佐賀市松原)と佐賀市星空学館(同市西里)で9月30、10月1日の2日間、全国の天文ファンが集まる交流会があった。国内と韓国の天文ファンが約80人が集まり、天体に関する講演や、佐賀西高校サイエンス部による発表などで知識を深めた。天文学者や天文愛好者、天文ファンら約80人が集まり、天体に関する講演や、佐賀西高校サイエンス部による発表などで知識を深めた。天文学者や天文愛好者、天文ファンら約80人が集まり、天体に関する講演や、佐賀西高校サイエンス部による発表などで知識を深めた。

最新式の望遠鏡を囲む参加者
～佐賀市松原のパルンミュージアム

「みなさんを宇宙旅行へ招待します」と、宇宙の奇事を交えて講演、宇宙に関する謎や、中性子(ニュートロン)から人工衛星ニュートロンの研究結果を紹介し、宇宙の謎を解く楽しさを伝えた。会場には各団体の研究結果や最新式の望遠鏡なども展示され、参加者からは熱心に見入っていた。

参加した佐賀県唐津市の男性(50)は「ニュートロンスターの内部構造を始めて知った。天体は謎が多いから楽しい」と笑顔を見せた。(花木美穂)

学科の橋本 基 准教授は「みなさんを宇宙旅行へ招待します」と、宇宙の奇事を交えて講演、宇宙に関する謎や、中性子(ニュートロン)から人工衛星ニュートロンの研究結果を紹介し、宇宙の謎を解く楽しさを伝えた。会場には各団体の研究結果や最新式の望遠鏡なども展示され、参加者からは熱心に見入っていた。

(4) 共催・協力・後援団体	
共催	一般社団法人 佐賀天文協会 / 日本天文愛好者連絡会
後援	佐賀市/佐賀市教育委員会/日本天文協議会/NPO 法人 東亜天文学会/株式会社 アストロアーツ/一般社団法人佐賀市観光協会/佐賀新聞社/ぶんぶんテレビ/ サガテレビ/NBCラジオ佐賀/NHK佐賀放送局
会場・機材協力	佐賀バルーンミュージアム/佐賀市星空学習館
情報提供協力	<p>【福岡】北九州市児童文化科学館/春日市白水大池公園星の館/ 八女市星の文化館/福岡市科学館/ 福岡県青少年科学館 大野城市北コミュニティセンタースタードームまどか天文台</p> <p>【佐賀】佐賀県立宇宙科学館/佐賀市星空学習館</p> <p>【長崎】佐世保市少年科学館「星きらり」/ 諫早市コスモス花宇宙館</p> <p>【大分県】大分市関崎海星館</p> <p>【熊本】南阿蘇ルナ天文台/優彩</p> <p>【宮崎】宮崎科学技術館/たちばな天文台/中小屋天文台</p> <p>【鹿児島】せんだい宇宙館/コリノ天文台</p> <p>【大学】和歌山大学教育学部/佐賀大学物理科</p>

(5) 所感
<p>2日間で100名の参加があり、イベントとしては大成功だったと感じています。一方で、直前まで参加人数の把握ができず、目標の40名程度の参加と考えていたところ、大幅に超える人数の参加があったため、両日ともに会場の狭さを感じました。</p> <p>2会場で行う形をとったのですが、バスの手配、ポスター発表の移動についてスムーズに行えたことにより、むしろ、2つの施設を見学できて良かったとの声を頂きました。</p> <p>遠くは福岡県や東京、関西・韓国からの参加が13名あり、九州各地の天文協会や高校、天文台、団体、地域の方の参加がありました。それぞれの場所での活動や天文現象についての話などの情報交換を通して交流も盛んに行われていたようです。</p> <p>講演会については、後日、重力波がノーベル賞を受賞。中性子星（ニュートロンスター）からの重力波の検出が続き、とても良いタイミングで知識を得ることができたとの反応が多くありました。日食報告会については、映像の美しさをとても喜んで頂きました。</p> <p>その後の天文愛好者による発表では、多彩な発表があったため、飽きずに楽しく参加して頂けたようです。ポスター発表については、発表の時間が短くなってしまったこと、場所が十分に取れなかったことが残念でした。</p> <p>初めての九州開催でしたが、今後もこのような会を企画してほしいとの声が多く上がっています。全国でなくとも、九州規模でこのような会を行うことができると感じました。何らかの形で働きかけや協力をお願いしていけたらと考えています。</p>

